

レジメンcode:	C50-41	備考
適応がん種:	乳癌	
レジメン名:	Pembrolizumab+AC(術前薬物療法)	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与方法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1
ADM	ドキシソルビシン(アドリアシン)	60	mg/m <sup>2</sup>	点滴(全開)	d1
CPA	エンドキサン	600	mg/m <sup>2</sup>	点滴(1時間)	d1

\*C50-40:Pembrolizumab+wPTX+wCBDCA4コース実施後、本レジメンを4コース実施する。

★ADM 総投与量 500mg/m<sup>2</sup>以下

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本			
ルート確保					
2) キイトルーダ		200 mg/body			
生食	50ml	1 本			
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1 本			
	主管②	点滴	15分	フラッシュ用	
4) パロノセトロン	0.75mg	1 V	ドキシソルビシンの投与1時間～1時間30分前に アプレピタント(イメド) 125mg内服		
デキサート	6.6mg	1 V			
デキサート	3.3mg	1 A			
生食	50ml	1 本			
	主管③	点滴	15 分		
5) ドキシソルビシン(アドリアシン)		60 mg/m <sup>2</sup>	【ケモセーフ使用】		
生食	50ml	1 本			
	主管④	点滴	全開		
6) エンドキサン		600 mg/m <sup>2</sup>	【ケモセーフ使用】		
生食	250ml	1 袋			
	主管⑤	点滴	1時間		
7) 生食	50ml	1 本			
フラッシュ					
〈所要時間 約2時間30分〉					

day2,3

アプレピタント(イメド)	80 mg
	内服 朝食後

次ページあり

## 【文献】

国際共同第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-522試験 NEJM2022;386:556-567) PMID:35139274

## 【適応】

\*ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスク(\*1)の乳癌における術前・術後薬物療法

(\*1): 術前薬物療法を開始する前に、画像診断又は臨床診断によりTNM分類でT1cかつN1~2  
又はT2~4かつN0~2に該当する遠隔転移を有しない患者

\*PD-L1発現の有無は問わない。

\*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に  
内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回) (免疫チェックポイント2回目~)

\*インラインフィルター(0.2~5 $\mu$ m)を使用する。

\*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

\*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

\*希釈後、25℃以下で6時間以内または2~8℃で合計96時間以内に使用する。

\*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

\*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。